

【第32回3級（管理業務）実技試験】

（はじめに）

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2018年9月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

1 医療機器メーカーX社の技術者である、甲、乙、丙が、特許出願の対象となる発明に関して発言している。

甲 「特許を受けることができる発明は、産業上利用できる発明である必要があります。産業上利用できる発明としては、人間を手術、治療、診断する方法といった医療行為も含まれません。」

乙 「特許出願前にベトナム国内において、ベトナム人がベトナム語によってベトナム人のみを対象とした公開セミナーにおいて発表した発明は、特許出願前にわが国の国内において公知となっていない場合であっても、新規性がなく特許を受けることはできません。」

丙 「全く同じ発明について同日に特許出願がされた場合には、経済産業大臣から出願人に対して協議をするように命令が出され、協議の結果定められた出願人が特許を受けることができます。但し、協議が成立しなかった場合は、いずれも特許を受けることはできません。」

以上を前提として、問1～問6に答えなさい。

問1

甲の発言について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問2

問1において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群I】

- ア 医療行為は産業上利用できる発明に該当するため
- イ 産業上利用できる発明でないことは拒絶理由ではないため
- ウ 医療行為は産業上利用できる発明に該当しないため

【第32回3級（管理業務）実技試験】

問3

乙の発言について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問4

問3において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅱ】

- ア 新規性を失うため
- イ ベトナム国内で発明を公開しても、日本国内で公知となっていなければ新規性は失われないため
- ウ ベトナム語で発明を公開しても、日本語で公開されていない場合には新規性は失われないため

問5

丙の発言について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問6

問5において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅲ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅲ】

- ア 丙の発言の通りであるため
- イ 特許は最初に出願をした者に認められるため
- ウ 協議命令を出すのは特許庁長官であるため

【第32回3級（管理業務）実技試験】

2 大学の著作権法のゼミに所属する甲は、著作権法の法改正に関する学識者の論文集Aについて友人に話している。発言1～3は、甲の発言である。いずれの場合にも、この論文集の著作権者等の許諾は得ていないものとする。

発言1 「論文集Aに掲載されている5つの論文のうち、3番目の論文はとても興味深い内容です。海外の友人に紹介したいので、3番目の論文を英訳して自分のブログに掲載して紹介しようと思いますが、問題はありませんよね。」

発言2 「自宅のパソコンとスキャナーを使って論文集Aを1冊丸ごとデジタルデータにして、タブレット端末にそのデータを入れて通学途中に自分だけで読もうと思いますが、問題はありませんよね。」

発言3 「自分も著作権法の法改正に関する論文を執筆する予定です。論文集Aに掲載されている5つの論文のうち、1番目の論文の大半を、そのまま自分の論文の文章に使おうと思いますが、問題はありませんよね。」

以上を前提として、問7～問12に答えなさい。

問7

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問8

問7において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅳ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問9

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問10

問9において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅳ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問11

発言3について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問12

問11において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅳ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【第32回3級（管理業務）実技試験】

【理由群Ⅳ】

- ア 著作権侵害となる可能性が高いため
- イ 著作権が制限される場合として、著作権侵害となる可能性が低いため
- ウ 著作物にあたらないと考えられるため

## 【第32回3級(管理業務)実技試験】

③ 問13～問26に答えなさい。

## 問13

X社はスマートフォンAについて意匠権を有している。X社の営業部の部員甲は、知的財産部の部員乙に、スマートフォンAと同一のデザインのスマートフォンのおもちゃBをY社が販売していることについて相談をした。ア～ウを比較して、甲と乙の会話として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。なお、「スマートフォン」と「スマートフォンのおもちゃ」は非類似物品とする。

- ア 甲 「スマートフォンのおもちゃBに対し、スマートフォンAに係る意匠権に基づいて権利行使できますか。」  
乙 「スマートフォンのおもちゃBのデザインは、スマートフォンAに係る登録意匠のデザインと同一です。そのため、デザインを保護するという意匠法の趣旨から、意匠権を行使できます。」
- イ 甲 「意匠権の効力範囲とはどのような範囲ですか。」  
乙 「登録意匠に係る物品と同一又は類似の範囲で、かつ、その形態と同一又は類似の範囲をいいます。」
- ウ 甲 「スマートフォンAは意匠登録されていましたよね。意匠法上、一般に意匠権に基づいてどのような権利行使ができますか。」  
乙 「意匠権の効力範囲における第三者の業としての実施に対して、差止請求や損害賠償請求ができます。」

## 問14

自動車メーカーX社において、知的財産部の部員が知的財産に関する条約について発言している。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「指定国として米国を含む特許協力条約(PCT)に基づく国際出願を先の出願として、わが国にパリ条約に基づく優先権を主張した特許出願をすることができます。」
- イ 「日本国特許庁を受理官庁として特許協力条約(PCT)に基づく国際出願をする場合には、指定国に日本を含めることができません。」
- ウ 「特許による保護を求めようとする場合には、保護を求める国毎に特許出願を行い、特許を受けることが必要ですが、パリ条約上の優先権を主張して特許出願する場合には、先の出願が特許されれば自動的に特許されたものとして取り扱われます。」

## 【第32回3級(管理業務)実技試験】

## 問15

家具メーカーX社の知的財産部の部員甲は、新商品の机に使用する商標Mについての先行商標調査を行った。ア～ウを比較して、甲の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 商標Mは、競合するY社が長年使用している商標Aと酷似するものであったため、商標Aについて調査を行い、Y社が商標Aについて商標登録を受けていないことを確認できたので、商標Mの商標登録に際して、商標Aが問題となることはないと考えた。
- イ 商標Mと同一又は類似する可能性があるような先行商標は発見されなかったので、直ちに商標Mの使用を開始しても問題はないと考えた。
- ウ X社と競合するW社が、商標Mと類似する登録商標Bを有していることが判明した。登録商標Bに係る指定商品と、X社が販売する商品とは商品区分が異なるが、商標Mを選択する上では詳細に当該指定商品との類否関係を検討する必要があると考えた。

## 問16

画家甲は、近所の海辺の風景画Aを描き、「ある日の海辺」というタイトルをつけた。風景画Aを見たレストランの経営者乙は、この風景画Aを大変気に入ったため、甲から風景画Aを購入した。ア～ウを比較して、問題が発生する可能性が低いものとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 印象的な作品名にするため、乙がタイトルを「青と白の世界」に変えてそのタイトルとともに店で展示すること
- イ 集客を目的として、乙が風景画Aをデジタルカメラで撮影し、撮影した画像を店のホームページに掲載すること
- ウ 甲から購入した価格よりも高い価格で、乙が客に風景画Aを売ること

## 問17

X社は、リンゴの新品種Aの育成に成功したことから、品種登録を受けることを検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「品種Aについて品種登録を受けるためには、同一の繁殖の段階にあるものの少なくとも一部が特性の全部においてほぼ類似している必要があります。」
- イ 「繁殖が繰り返されることによって品種の同一性が維持されない場合でも、同一世代で特性が均一であれば品種Aについて品種登録を受けることができます。」
- ウ 「品種Aについて品種登録を受けるためには、出願前に国内及び外国で公知の他のリンゴの品種と、明確に区別できることが必要です。」

【第32回3級（管理業務）実技試験】

問18

電機メーカーX社が特許出願をしたところ、審査官甲から拒絶理由が通知された。ア～ウを比較して、X社がとり得る措置として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 特許請求の範囲に、明細書にのみ記載されていた事項を追加記載するために、手続補正書を提出する。
- イ 審査官甲とは異なる審査官乙による再審査を求める再審査請求書を提出する。
- ウ 拒絶理由に対する反論を主張した意見書や、その意見の内容を立証するための実験証明書を提出する。

問19

甲は、「XYZ株式会社」の設立を準備しており、会社名等について、商標登録出願をすべきか否かを検討している。ア～ウを比較して、甲の考えとして、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア XYZ株式会社が、会社名について商標登録出願する場合には、複数の商品を指定して出願することができる考えた。
- イ XYZ株式会社が販売する予定の商品パッケージは独特の形状であるが、そのパッケージの形状のみからなる商標については、商標登録を受けることはできないと考えた。
- ウ 会社名「XYZ株式会社」について、商号登記をした場合であっても、会社名について、商標登録出願もした方がいいと考えた。

問20

甲と乙は、アカペラグループXのメンバーである。曲AはアカペラグループXの新しい歌であり、甲と乙が共同で作詞と作曲を行ったものである。ア～ウを比較して、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 甲が死亡し、甲には相続人がいない場合、甲が有する著作権人格権は、自動的に乙に移転される。
- イ 乙が有する著作権の持分を丙に譲渡しようとする場合、乙は甲の同意を得なければ丙に譲渡することができない。
- ウ 丁は、甲及び乙に無断で曲Aを複製したCDを販売している。甲は単独で丁に自己が有する著作権の持分に基づいて損害賠償を請求することができる。

## 【第32回3級(管理業務)実技試験】

## 問21

ベンチャー企業X社の代表取締役甲は、自社の未利用特許Pに係る発明について、2019年1月15日に技術発表会において発表したところ、その会場にいた部品メーカーY社の代表取締役乙から特許Pを1千万円で購入したいとの申込を口頭で受けた。他の開発案件のための資金調達に困っていた甲は、その場で直ちに乙の申込に口頭で承諾した。その後、2019年1月25日に乙は甲から捺印前の譲渡契約書を受け取った。そして、2019年2月1日に甲はY社を訪問し、その場で甲と乙が譲渡契約書に捺印した。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「特許Pの譲渡契約は2019年1月15日の時点で成立したと考えられます。」
- イ 「特許Pの譲渡契約は2019年1月25日の時点で成立したと考えられます。」
- ウ 「特許Pの譲渡契約は2019年2月1日の時点で成立したと考えられます。」

## 問22

英国の食器メーカーX社は、日本に法人を設立し、商品名「ローズクィーン」を付したスープ皿の日本での販売を開始した。一方、日本の食器メーカーY社は、登録商標「ローズクィーン」、指定商品「皿」とする商標権Mを有している。ア～ウを比較して、X社の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社はY社の登録商標と偶然同じ標章を使用していたものであり、何らY社のビジネスを阻害する意図はなかった。従って、X社からの申出があれば、Y社はライセンス交渉等に応じる必要がある。
- イ Y社が日本国内で3年間継続して登録商標「ローズクィーン」を使用していない場合、X社は当該商標登録を取り消すことができる可能性がある。
- ウ X社とY社との交渉の結果、Y社はX社に、商標権Mの全範囲について、専用使用権の設定契約をしたので、専用使用権の設定登録がされていない場合でも、X社には商標権Mに係る専用使用権の効力が生じる。

## 問23

ア～ウを比較して、意匠登録を受けられる可能性のあるものとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 猫の顔が描かれたTシャツ
- イ 恐竜のキャラクターデザイン
- ウ コンピュータのモニタ画面に表示されるカブト虫を表したアイコンのデザイン



## 【第32回3級(管理業務)実技試験】

## 問24

化学品メーカーX社において、知的財産部の部員が、特許協力条約（PCT）に基づく国際出願をすることを検討している。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「国際出願をした後、指定国において権利化を望む場合には、所定の期間内に指定国毎に国内移行手続を行う必要があります。」
- イ 「国際出願をした後、国際予備審査を望む場合には、国際予備審査機関に対して国際予備審査請求を行う必要があります。」
- ウ 「国際出願について国際調査報告を受領した場合に、請求の範囲について補正をすることができません。」

## 問25

文房具メーカーX社は、競合他社であるY社がボールペンAを製造販売する行為が、自社の特許権を侵害していると考えている。ア～ウを比較して、X社がとり得る措置に関して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社がボールペンAの製造販売の差止請求訴訟を提起する場合には、事前にY社に対しX社が警告書を送らなくてはならない。
- イ X社はY社に対して、実施料相当額を超える損害賠償を請求することはできない。
- ウ X社はY社に対して、Y社がボールペンAの製造販売により得た利益額を超える不当利得返還請求をすることはできない。

## 問26

宝飾メーカーX社は斬新なデザインである指輪について意匠登録出願の準備をしているが、指輪の発売は、予定より大幅に遅れることになった。意匠登録出願後に、他社にデザインが知られるのを防ぎたい。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員甲の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「意匠登録出願と同時に秘密期間を3年とする秘密意匠の請求をしよう。」
- イ 「設定登録料の納付時に、秘密期間を1年とする秘密意匠の請求をしよう。」
- ウ 「意匠登録出願について、登録査定の際の本送達後に、設定登録料の納付期間を1年とする納付延長の請求をしよう。」

【第32回3級（管理業務）実技試験】

4 問27に答えなさい。

問27

大企業である製薬会社X社は、自社の発明について特許出願（請求項の数は1）をしたところ、出願内容について補正することなく特許査定が送達された。設定登録を受けるために納付すべき特許料は、何円になるか求めて、算用数字で解答用紙に記入しなさい。

| 特許料（特許法第107条第1項による） |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 各年の区分               | 金額                         |
| 第一年から第三年まで          | 毎年2100円に一請求項につき200円を加えた額   |
| 第四年から第六年まで          | 毎年6400円に一請求項につき500円を加えた額   |
| 第七年から第九年まで          | 毎年19300円に一請求項につき1500円を加えた額 |
| 第十年から第二十五年まで        | 毎年55400円に一請求項につき4300円を加えた額 |

5 次の発言は、X社の知的財産部の部員が商標権の登録等に関して社員に説明しているものである。問28～問30に答えなさい。

「商標登録出願について、の謄本が送達された日から、所定期間内に登録料を納付することにより設定登録され、商標権が発生します。また、登録料は、年毎に分割して納付することもできます。更に、他の知的財産権と異なり、商標権者は申請により存続期間を更新することができ、その更新手続をすることにより、半永久的に商標権を存続させることも可能です。また、更新の申請のときに、登録商標を使用していることが要件と。」

問28

空欄に入る最も適切な語句を【語群V】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問29

空欄に入る最も適切な語句を【語群V】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問30

空欄に入る最も適切な語句を【語群V】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

| 【語群V】 |                     |
|-------|---------------------|
| 3     | 5 10 20 されます はされません |
| 拒絶理由  | 登録査定 許可通知           |

—————問題は以上です。

【第32回知的財産管理技能検定】

【3級実技】

番号 正解

- 問1 ×
- 問2 ウ
- 問3 ○
- 問4 ア
- 問5 ×
- 問6 ウ
- 問7 ×
- 問8 ア
- 問9 ○
- 問10 イ
- 問11 ×
- 問12 ア
- 問13 ア
- 問14 ア
- 問15 ウ
- 問16 ウ
- 問17 ウ
- 問18 イ
- 問19 イ
- 問20 ア
- 問21 ア
- 問22 イ
- 問23 ア
- 問24 ウ
- 問25 ウ
- 問26 ウ
- 問27 6900(円)
- 問28 登録査定
- 問29 5
- 問30 はされません